

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2007年8月30日から、原則として無期限です。	
運用方針	新興国国債マザーファンド（以下、「マザーファンド」といいます。）の受益証券への投資を通じて、主としてJPMorgan社のGBI-EM（ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット）ブロード・ディバシファイド指数を構成する新興国が発行する現地通貨建ての国債または政府機関が発行する債券、およびそれと同等の価値が得られるクレジット・リンク・ノート等（以下、「新興国の国債等」といいます。）に投資し、安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。ただし、投資環境の急変が起きた場合等には、委託会社の判断により為替ヘッジを行うことがあります。	
主要投資対象	当ファンド	マザーファンドの受益証券を主要投資対象とします。
	新興国国債マザーファンド	新興国の国債等を主要投資対象とします。
投資制限	当ファンド	マザーファンドの受益証券への投資割合には制限を設けません。
	新興国国債マザーファンド	外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎月12日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき、収益分配を行います。 分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。繰越分を含めた配当等収益には、マザーファンドの配当等収益のうち、投資信託財産に帰属すべき配当等収益を含むものとします。 収益分配は、主として配当等収益等から行います。ただし、1月、4月、7月、10月の決算時の分配方針は、それぞれの決算日に売買益（評価益を含みます。）等が存在するときは、配当等収益に売買益（評価益を含みます。）等を加えた額を分配対象収益として収益分配を行います。 分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案して決定します。分配可能額が少額の場合や基準価額水準によっては、収益分配を行わないことがあります。	

## 運用報告書(全体版)

# 新興国国債オープン (毎月決算型) (愛称 アトラス (毎月決算型))

第132期(決算日 2018年9月12日) 第135期(決算日 2018年12月12日)  
第133期(決算日 2018年10月12日) 第136期(決算日 2019年1月15日)  
第134期(決算日 2018年11月12日) 第137期(決算日 2019年2月12日)

### 受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。  
皆様の「新興国国債オープン（毎月決算型）（愛称 アトラス（毎月決算型））」は、2019年2月12日に第137期決算を迎えましたので、過去6ヵ月間（第132期～第137期）の運用状況ならびに決算のご報告を申し上げます。  
今後とも、一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



〒104-0031 東京都中央区京橋2-2-1

お問い合わせは弊社クライアント・サービス部へ  
フリーダイヤル ☎ 0120-048-214（営業日の9:00～17:00）

[ホームページ]

<https://www.okasan-am.jp>

※アクセスにかかる通信料はお客様のご負担となります。

○最近30期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			GBI-EM (ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット) ブロード・ディバースィファイド指数 (円ベース)		債券組入率	債券先物比率	純 資 産 額
	(分配落)	税 込 分 配 金	期 騰 落 率	(参考指数)	期 騰 落 率			
	円	円	%	ポイント	%	%	%	百万円
108期(2016年9月12日)	3,689	20	△1.2	214.533	△0.1	96.8	—	9,049
109期(2016年10月12日)	3,728	20	1.6	216.650	1.0	96.9	—	8,984
110期(2016年11月14日)	3,632	20	△2.0	210.749	△2.7	93.4	—	8,501
111期(2016年12月12日)	3,946	20	9.2	229.262	8.8	95.8	—	9,138
112期(2017年1月12日)	3,983	20	1.4	230.873	0.7	97.2	—	9,128
113期(2017年2月13日)	4,060	20	2.4	233.535	1.2	89.9	—	9,210
114期(2017年3月13日)	4,059	20	0.5	236.614	1.3	92.7	—	9,091
115期(2017年4月12日)	3,971	20	△1.7	231.388	△2.2	89.0	—	8,809
116期(2017年5月12日)	4,144	20	4.9	242.761	4.9	96.6	—	9,088
117期(2017年6月12日)	4,068	20	△1.4	242.686	△0.0	95.9	—	8,816
118期(2017年7月12日)	4,140	20	2.3	248.885	2.6	95.8	—	8,898
119期(2017年8月14日)	4,052	20	△1.6	243.447	△2.2	82.1	—	8,630
120期(2017年9月12日)	4,159	20	3.1	251.197	3.2	93.3	—	8,784
121期(2017年10月12日)	4,134	20	△0.1	251.904	0.3	95.2	—	8,667
122期(2017年11月13日)	4,065	20	△1.2	249.243	△1.1	93.7	—	8,449
123期(2017年12月12日)	4,114	20	1.7	253.197	1.6	97.1	—	8,484
124期(2018年1月12日)	4,132	20	0.9	257.170	1.6	87.2	—	8,437
125期(2018年2月13日)	4,009	20	△2.5	252.575	△1.8	89.9	—	8,047
126期(2018年3月12日)	3,960	20	△0.7	251.242	△0.5	87.6	—	7,876
127期(2018年4月12日)	3,951	20	0.3	251.117	△0.0	95.2	—	7,767
128期(2018年5月14日)	3,851	20	△2.0	247.918	△1.3	94.3	—	7,483
129期(2018年6月12日)	3,723	20	△2.8	241.051	△2.8	96.7	—	7,107
130期(2018年7月12日)	3,723	20	0.5	241.096	0.0	96.6	—	7,017
131期(2018年8月13日)	3,562	20	△3.8	234.055	△2.9	82.1	—	6,625
132期(2018年9月12日)	3,452	20	△2.5	226.399	△3.3	89.5	—	6,364
133期(2018年10月12日)	3,571	20	4.0	233.466	3.1	82.3	—	6,497
134期(2018年11月12日)	3,648	20	2.7	239.052	2.4	89.9	—	6,583
135期(2018年12月12日)	3,633	20	0.1	240.431	0.6	95.2	—	6,496
136期(2019年1月15日)	3,618	20	0.1	240.246	△0.1	91.5	—	6,419
137期(2019年2月12日)	3,681	20	2.3	246.623	2.7	95.1	—	6,446

(注) 基準価額および分配金(税引前)は1万円当たり、基準価額の騰落率は分配金(税引前)込み。

(注) GBI-EM (ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット) ブロード・ディバースィファイド指数 (円ベース) は当ファンドの参考指数であり、ベンチマークではありません。GBI-EM (ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット) ブロード・ディバースィファイド指数 (円ベース) は、当該日前営業日のデータです。

(注) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、債券組入比率および債券先物比率は実質比率を記載しております。

(注) 債券先物比率=買建比率-売建比率。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基 準 価 額		G B I - E M (ガバメント・ボンド・インデックス・エマーゼィング・マーケット) ブロード・ディバースィファイド指数 (円ベース)		債 券 組 入 率 比	債 券 先 物 率 比
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率			
第132期	(期 首) 2018年 8 月13日	円 3,562	% —	ポイント 234.055	% —	% 82.1	% —
	8 月末	3,507	△1.5	229.971	△1.7	91.9	—
	(期 末) 2018年 9 月12日	3,472	△2.5	226.399	△3.3	89.5	—
第133期	(期 首) 2018年 9 月12日	3,452	—	226.399	—	89.5	—
	9 月末	3,633	5.2	238.445	5.3	95.2	—
	(期 末) 2018年10月12日	3,591	4.0	233.466	3.1	82.3	—
第134期	(期 首) 2018年10月12日	3,571	—	233.466	—	82.3	—
	10 月末	3,615	1.2	234.697	0.5	80.7	—
	(期 末) 2018年11月12日	3,668	2.7	239.052	2.4	89.9	—
第135期	(期 首) 2018年11月12日	3,648	—	239.052	—	89.9	—
	11 月末	3,703	1.5	243.325	1.8	94.6	—
	(期 末) 2018年12月12日	3,653	0.1	240.431	0.6	95.2	—
第136期	(期 首) 2018年12月12日	3,633	—	240.431	—	95.2	—
	12 月末	3,613	△0.6	238.699	△0.7	90.7	—
	(期 末) 2019年 1 月15日	3,638	0.1	240.246	△0.1	91.5	—
第137期	(期 首) 2019年 1 月15日	3,618	—	240.246	—	91.5	—
	1 月末	3,671	1.5	244.961	2.0	91.3	—
	(期 末) 2019年 2 月12日	3,701	2.3	246.623	2.7	95.1	—

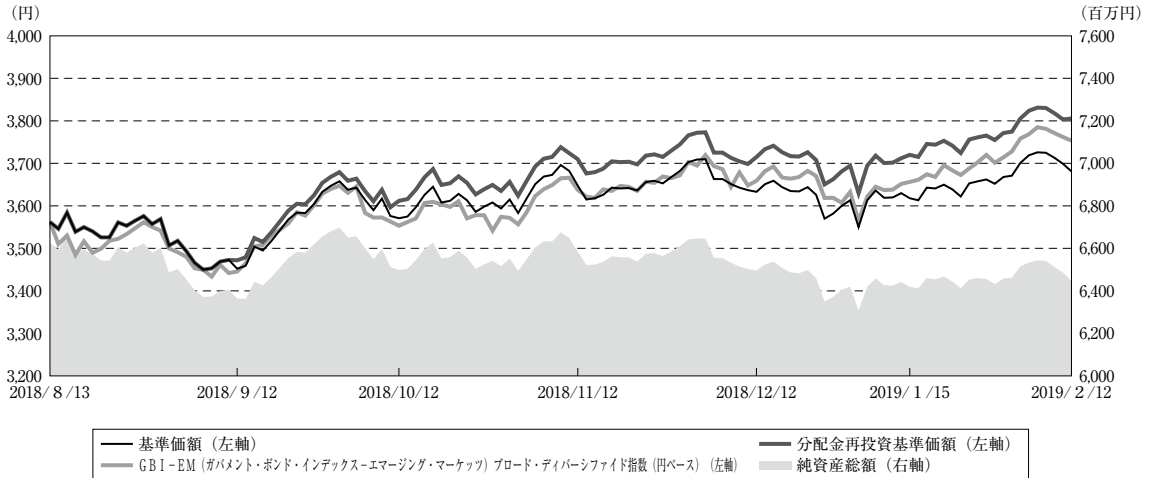
(注) 期末基準価額は1万円当たり分配金(税引前)込み、騰落率は期首比。

G B I - E M (ガバメント・ボンド・インデックス・エマーゼィング・マーケット) ブロード・ディバースィファイド指数(円ベース)は、J.P.Morgan Securities Inc.が公表している新興国の債券のパフォーマンスを表す指数です。同指数は、J.P.Morgan Securities Inc.が定める条件により選ばれた、政府または政府機関の発行する、新興国の現地通貨建ての債券で構成されている時価総額加重平均指数で、2003年1月1日より算出されております。

## 運用経過

### 作成期間中の基準価額等の推移

（2018年8月14日～2019年2月12日）



第132期首：3,562円  
 第137期末：3,681円（既払分配金（税引前）：120円）  
 騰落率：6.8%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 参考指数は、GBI-EM（ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット）ブロード・ディバースファイド指数（円ベース）です。
- (注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、作成期首（2018年8月13日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

#### ○基準価額の主な変動要因

当ファンドの主要投資対象である「新興国債マザーファンド」における主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

##### (主なプラス要因)

- ・現地通貨建て新興国債への投資により、安定的な利息収入を獲得したこと。また、ブラジルを筆頭に多くの投資国において、保有債券の利回りが低下し価格が上昇したこと。
- ・トルコリラやブラジルレアルが対円で上昇したこと。

##### (主なマイナス要因)

- ・ポーランドズロチやペルーソルが対円で下落したこと。

**投資環境**

（2018年8月14日～2019年2月12日）

**<新興国の国債市場>**

トルコリラの急落や米国の長期債利回りの上昇を背景に、新興国からの投資資金の流出懸念が高まり、多くの投資国で国債利回りが上昇（価格は下落）してスタートしました。しかし、その後は、米国の長期債利回りが低下に転じたことや、米連邦準備制度理事会（F R B）が利上げに慎重なスタンスに転換したことなどを受けて、新興国の国債利回りは低下（価格は上昇）基調が続きました。この結果、当作成期間においては、多くの新興国において国債利回りの低下が顕著となりました。

**<為替市場>**

トルコリラの急落に伴う新興国からの投資資金の流出懸念などを背景に、新興国通貨が対円で下値を切り下げるスタートとなりました。しかし、その後、米中の貿易摩擦への警戒感が徐々に薄らいだことなどから、新興国通貨が対円で戻り歩調に転じました。2018年12月から2019年1月初めにかけては、世界的な株安を背景に投資家のリスク回避の動きが強まり、新興国通貨が対円で急落する場面が見られましたが、F R Bが利上げに慎重なスタンスに転換したことを好感し、その後は新興国通貨が対円で堅調に推移しました。この結果、当作成期間において、投資していた11通貨のうち、トルコリラなど7通貨が対円で上昇する一方、インドルピーなど4通貨が対円で下落しました。

**当ファンドのポートフォリオ**

（2018年8月14日～2019年2月12日）

**<新興国債オープン（毎月決算型）（愛称 アトラス（毎月決算型））>**

「新興国債マザーファンド」の受益証券を主要投資対象とし、同受益証券の組入比率を概ね99%台と高位で推移させました。

**○新興国債マザーファンド**

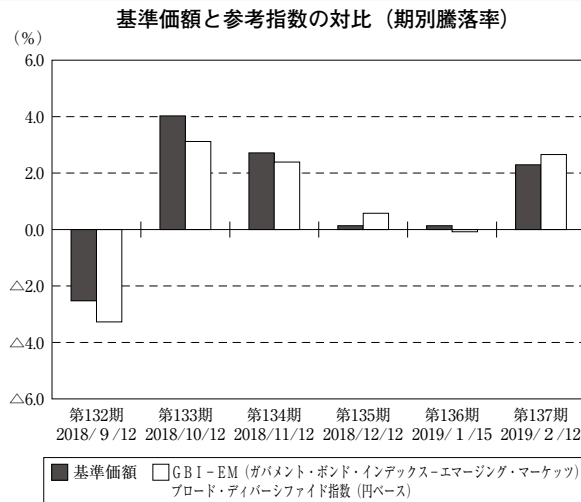
J P モルガン社の G B I - E M（ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット）ブロード・ディバーシファイド指数を構成する新興国の中から、国債の利回り水準や流動性、国内総生産（G D P）、経常収支、外貨準備、インフレ率などのファンダメンタルズ等を総合的に判断し、投資国及び投資通貨を選定しました。当作成期間においては、11カ国、11通貨（日本及び円は除いていません）に投資を行いました（インドへの投資はクレジット・リンク・ノート（C L N）\*を通じて行いました）。当作成期間における新興国の国債及び通貨の組入れは、投資環境に応じて、機動的に変化させました。また、中国国債を新規で組み入れました。作成期末時点の外貨の投資比率は97.1%、投資国上位は、ブラジル、メキシコ、ポーランド、インドネシアとなっています。前作成期末との比較では、中国やマレーシアなどの投資比率が上昇する一方、インドや南アフリカなどの投資比率が低下しました。また、ファンドの金利変動リスクを測る尺度であるデュレーションは、作成期末時点で3.96年となり、前作成期末と比較し長期化となりました。

\*クレジット・リンク・ノート（C L N）は、現地通貨建ての新興国債または新興国の政府機関債にパフォーマンスが概ね連動する債券です。クレジット・リンク・ノート（C L N）は、米ドル建てで発行されていますが、ファンドに与える実質的な影響を考慮し、連動先債券の国および通貨の情報に基づいて前述の分類を行っています。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

（2018年8月14日～2019年2月12日）

当ファンドは特定のベンチマークを設けておりませんが、分配金も考慮した当ファンドの基準価額の騰落率は、参考指数としているJPモルガン社の「GBI-EM（ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット）ブロード・ディバーシファイド指数（円ベース）」の騰落率を1.5%上回りました。



- (注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。  
 (注) 参考指数は、GBI-EM（ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット）ブロード・ディバーシファイド指数（円ベース）です。

## 分配金

（2018年8月14日～2019年2月12日）

分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額としております。当作成期間におきましては、毎期1万口当たり20円（税引前）、合計120円（税引前）の分配を行いました。なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針と同一の運用を行ってまいります。

（単位：円、1万口当たり・税引前）

項目	第132期	第133期	第134期	第135期	第136期	第137期
	2018年8月14日～ 2018年9月12日	2018年9月13日～ 2018年10月12日	2018年10月13日～ 2018年11月12日	2018年11月13日～ 2018年12月12日	2018年12月13日～ 2019年1月15日	2019年1月16日～ 2019年2月12日
当期分配金 （対基準価額比率）	20 0.576%	20 0.557%	20 0.545%	20 0.547%	20 0.550%	20 0.540%
当期の収益	10	14	14	11	20	20
当期の収益以外	9	5	5	8	-	-
翌期繰越分配対象額	189	184	179	170	184	185

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針

### （投資環境の見通し）

先進国の国債市場では、グローバル経済の減速が鮮明となる中、米国を筆頭に主要先進国の中央銀行が金融引き締めを慎重なスタンスに転換しつつあることから、引き続き利回り上昇が抑制される展開を想定しています。このことは、新興国からの投資資金の流出懸念緩和につながり、新興国の国債市場にとってはプラス材料と考えています。また、インドが約1年半ぶりに利下げに踏み切るなど、一部の新興国においては、インフレ懸念の後退や通貨の安定を背景に、金融緩和観測が台頭しつつあり、利回りの低下余地が残されていると見ています。

為替市場では、主要先進国の中央銀行による金融引き締め姿勢の軟化を受けて、相対的に高い利回りを求める投資資金の流入が期待されることから、総じて底堅い動きになると見ています。また、多くの新興国通貨は、2018年9月にかけての対ドルや対円での大幅下落により、長期的な割安感が意識され始めていることも、下支え要因として働くと予想しています。一方、グローバル経済の減速局面が長期化する、または減速基調が一段と強まる場合には、投資家のリスク回避の動きを背景に新興国通貨の対円での下落リスクが高まる可能性があるため、引き続きグローバル経済の動向に留意する必要があると考えています。

### （運用方針）

#### <新興国国債オープン（毎月決算型）（愛称 アトラス（毎月決算型））>

主要投資対象である「新興国国債マザーファンド」の受益証券の組入比率は概ね99%台の高位を維持する方針です。ただし、追加設定・解約の動向等によっては組入比率が高位にならない場合があります。

#### ○新興国国債マザーファンド

新興国の国債及び通貨の組入れを高位に維持することを基本とします。ただ、市況動向によっては、ポートフォリオの一部を先進国の国債（米国、ドイツ、日本）や円のコール・ローン等へシフトする場合があります。また、投資環境の変化に応じてファンド全体の金利変動リスク、為替変動リスク、信用リスクのコントロールを図る方針ですが、投資環境の急変が起きた場合には、委託会社の判断により為替ヘッジを行うことがあります。

## ○1万口当たりの費用明細

（2018年8月14日～2019年2月12日）

項 目	第132期～第137期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
	円	%	
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	26 (12) (12) (2)	0.704 (0.336) (0.325) (0.043)	(a) 信託報酬＝作成期間中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用 (保管費用) (監査費用) (その他1) (その他2)	3 (1) (0) (0) (1)	0.070 (0.032) (0.006) (0.000) (0.032)	(b) その他費用＝作成期間中のその他費用÷作成期間中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 その他1は、中国の債券取引に係る費用 その他2は、クレジット・リンク・ノートの発行体に関する年間手数料等
合 計	29	0.774	
作成期間中の平均基準価額は、3,623円です。			

(注) 作成期間中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○売買及び取引の状況

（2018年8月14日～2019年2月12日）

○売買及び取引の状況とは、ファンドが購入・売却した有価証券の数量および金額です。

### 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	第 132 期 ～ 第 137 期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
新興国債マザーファンド	千口 —	千円 —	千口 583,312	千円 657,000

(注) 単位未満は切捨て。

## ○利害関係人との取引状況等

（2018年8月14日～2019年2月12日）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。



## ○組入資産の明細

（2019年2月12日現在）

### 親投資信託残高

銘柄	柄	第131期末		第137期末	
		口数	口	口数	口
新興国債マザーファンド		6,053,422	千口	5,470,110	千口
					千円
					6,414,251

（注）口数・評価額の単位未満は切捨て。

## ○投資信託財産の構成

（2019年2月12日現在）

項目	第137期末	
	評価額	比率
新興国債マザーファンド	千円 6,414,251	% 98.6
コール・ローン等、その他	90,276	1.4
投資信託財産総額	6,504,527	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

（注）新興国債マザーファンドにおいて、作成期間末における外貨建純資産（6,732,492千円）の投資信託財産総額（6,935,561千円）に対する比率は97.1%です。

（注）外貨建資産は、作成期間末の時価をわが国の対顧客電信売相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、邦貨換算レートは1米ドル=110.55円、1メキシコペソ=5.73円、1ブラジルレアル=29.43円、1ペルーソル=33.16円、1トルコリラ=20.96円、1ポーランドズロチ=28.82円、1ロシアルーブル=1.68円、1マレーシアリングギット=27.11円、1インドネシアルピア=0.0079円、1南アフリカランド=8.02円、1オフショア元=16.24円です。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項目	第132期末	第133期末	第134期末	第135期末	第136期末	第137期末
	2018年9月12日現在	2018年10月12日現在	2018年11月12日現在	2018年12月12日現在	2019年1月15日現在	2019年2月12日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	6,416,277,210	6,557,111,920	6,632,437,455	6,544,691,646	6,469,186,787	6,504,527,844
コール・ローン等	79,387,317	84,971,024	76,553,845	80,060,575	80,066,688	90,276,839
新興国債マザーファンド(評価額)	6,336,889,893	6,472,140,896	6,555,883,610	6,464,631,071	6,389,120,099	6,414,251,005
(B) 負債	52,271,194	59,417,262	48,465,205	48,612,175	49,561,710	58,461,460
未払収益分配金	36,875,079	36,395,749	36,094,823	35,759,524	35,489,082	35,026,774
未払解約金	7,795,976	15,388,523	4,471,986	5,201,547	5,572,980	16,398,417
未払信託報酬	7,530,285	7,562,875	7,825,639	7,580,805	8,421,722	6,971,674
未払利息	123	58	158	154	143	87
その他未払費用	69,731	70,057	72,599	70,145	77,783	64,508
(C) 純資産総額(A-B)	6,364,006,016	6,497,694,658	6,583,972,250	6,496,079,471	6,419,625,077	6,446,066,384
元本	18,437,539,933	18,197,874,612	18,047,411,885	17,879,762,371	17,744,541,297	17,513,387,027
次期繰越損益金	△12,073,533,917	△11,700,179,954	△11,463,439,635	△11,383,682,900	△11,324,916,220	△11,067,320,643
(D) 受益権総口数	18,437,539,933口	18,197,874,612口	18,047,411,885口	17,879,762,371口	17,744,541,297口	17,513,387,027口
1万口当たり基準価額(C/D)	3,452円	3,571円	3,648円	3,633円	3,618円	3,681円

（注）純資産総額が元本総額を下回っており、その差額は第132期12,073,533,917円、第133期11,700,179,954円、第134期11,463,439,635円、第135期11,383,682,900円、第136期11,324,916,220円、第137期11,067,320,643円です。

（注）計算期間末における1口当たりの純資産額は、第132期0.3452円、第133期0.3571円、第134期0.3648円、第135期0.3633円、第136期0.3618円、第137期0.3681円です。

（注）当ファンドの第132期首元本額は18,598,423,081円、第132～137期中追加設定元本額は42,777,382円、第132～137期中一部解約元本額は1,127,813,436円です。

## ○損益の状況

項 目	第132期	第133期	第134期	第135期	第136期	第137期
	2018年8月14日～ 2018年9月12日	2018年9月13日～ 2018年10月12日	2018年10月13日～ 2018年11月12日	2018年11月13日～ 2018年12月12日	2018年12月13日～ 2019年1月15日	2019年1月16日～ 2019年2月12日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	△ 1,740	△ 1,637	△ 2,188	△ 2,362	△ 2,542	△ 1,637
受取利息	26	38	-	33	1	36
支払利息	△ 1,766	△ 1,675	△ 2,188	△ 2,395	△ 2,543	△ 1,673
(B) 有価証券売買損益	△ 159,536,716	260,334,638	183,922,328	16,591,150	16,574,049	152,024,094
売買益	676,171	263,246,307	184,741,963	16,998,141	16,944,319	153,138,336
売買損	△ 160,212,887	△ 2,911,669	△ 819,635	△ 406,991	△ 370,270	△ 1,114,242
(C) 信託報酬等	△ 7,599,972	△ 7,632,797	△ 7,898,148	△ 7,650,894	△ 8,499,567	△ 7,036,130
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 167,138,428	252,700,204	176,021,992	8,937,894	8,071,940	144,986,327
(E) 前期繰越損益金	△ 6,269,658,689	△ 6,387,381,050	△ 6,118,635,371	△ 5,917,789,808	△ 5,897,806,174	△ 5,846,624,124
(F) 追加信託差損益金	△ 5,599,861,721	△ 5,529,103,359	△ 5,484,731,433	△ 5,439,071,462	△ 5,399,692,904	△ 5,330,656,072
(配当等相当額)	( 159,095,609)	( 157,094,341)	( 155,839,282)	( 154,542,858)	( 153,432,885)	( 151,479,877)
(売買損益相当額)	(△ 5,758,957,330)	(△ 5,686,197,700)	(△ 5,640,570,715)	(△ 5,593,614,320)	(△ 5,553,125,789)	(△ 5,482,135,949)
(G) 計(D+E+F)	△ 12,036,658,838	△ 11,663,784,205	△ 11,427,344,812	△ 11,347,923,376	△ 11,289,427,138	△ 11,032,293,869
(H) 収益分配金	△ 36,875,079	△ 36,395,749	△ 36,094,823	△ 35,759,524	△ 35,489,082	△ 35,026,774
次期繰越損益金(G+H)	△ 12,073,533,917	△ 11,700,179,954	△ 11,463,439,635	△ 11,383,682,900	△ 11,324,916,220	△ 11,067,320,643
追加信託差損益金	△ 5,599,861,721	△ 5,529,103,359	△ 5,484,731,433	△ 5,439,071,462	△ 5,399,692,904	△ 5,330,656,072
(配当等相当額)	( 159,101,684)	( 157,099,040)	( 155,842,911)	( 154,557,324)	( 153,440,393)	( 151,486,141)
(売買損益相当額)	(△ 5,758,963,405)	(△ 5,686,202,399)	(△ 5,640,574,344)	(△ 5,593,628,786)	(△ 5,553,133,297)	(△ 5,482,142,213)
分配準備積立金	191,033,843	179,421,200	167,448,556	150,494,886	173,917,519	173,455,195
繰越損益金	△ 6,664,706,039	△ 6,350,497,795	△ 6,146,156,758	△ 6,095,106,324	△ 6,099,140,835	△ 5,910,119,766

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定した価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 収益分配金

決算期	第132期	第133期	第134期	第135期	第136期	第137期
(a) 配当等収益(費用控除後)	19,348,617円	27,241,717円	25,573,623円	20,397,392円	60,000,825円	36,754,671円
(b) 有価証券等損益額 (費用控除後、繰越欠損金補填後)	0円	0円	0円	0円	0円	0円
(c) 信託約款に規定する収益調整金	159,101,684円	157,099,040円	155,842,911円	154,557,324円	153,440,393円	151,486,141円
(d) 信託約款に規定する分配準備積立金	208,560,305円	188,575,232円	177,969,756円	165,857,018円	149,405,776円	171,727,298円
分配対象収益(a+b+c+d)	387,010,606円	372,915,989円	359,386,290円	340,811,734円	362,846,994円	359,968,110円
分配対象収益(1万口当たり)	209円	204円	199円	190円	204円	205円
分配金額	36,875,079円	36,395,749円	36,094,823円	35,759,524円	35,489,082円	35,026,774円
分配金額(1万口当たり)	20円	20円	20円	20円	20円	20円

## ○分配金のお知らせ

	第132期	第133期	第134期	第135期	第136期	第137期
1万口当たり分配金(税引前)	20円	20円	20円	20円	20円	20円
支払開始日	各決算日から起算して5営業日までの間に支払いを開始します。					
お支払場所	取得申込みを取扱った販売会社の本支店					

<お知らせ>

該当事項はございません。

### 用語解説

○資産、負債、元本及び基準価額の状況は、期末における資産、負債、元本及び基準価額の計算過程を表しています。主な項目の説明は次の通りです。

項目	説明
<b>資産</b>	ファンドが保有する財産の合計です。
コール・ローン等	金融機関向けの安全性の高い短期貸付運用などの残高です。
各種有価証券等(評価額)	組入れた株式・債券・ファンドなどの評価金額です。
未収入金	入金が予定されている有価証券の売却代金などです。
未収配当金	入金が予定されている株式の配当金等です。
未収利息	入金が予定されているコール・ローン等の利息や債券の利息の合計です。
<b>負債</b>	支払いが予定されている金額の合計です。
未払収益分配金	期末時点で支払いが予定されている収益分配金です。
未払解約金	支払いが予定されている解約金です。
未払信託報酬	支払いが予定されている信託報酬の額です。
その他未払費用	支払いが予定されている監査費用、その他の費用です。
<b>純資産総額(資産－負債)</b>	ファンドが保有する財産の合計から支払いが予定されている金額の合計を差し引いたものです。
元本	ファンド全体の元本残高です。
次期繰越損益金	純資産総額と元本の差額（翌期に繰り越す損益金の合計額）です。
<b>受益権総口数</b>	受益者が保有する受益権口数の合計です。
<b>1(万)口当たり基準価額</b>	1(万)口当たりのファンドの時価です。

### 用語解説

○損益の状況は、期中にファンドがどのような収益や損失を計上したかを表しています。主な項目の説明は次の通りです。

項目	説明
<b>配当等収益</b>	ファンドが受取った配当金・利息等の合計です。
受取配当金	保有する株式等の配当金等です。
受取利息	債券、コール・ローン等の利息等です。
<b>有価証券売買損益</b>	有価証券の売買損益と期末の評価損益の合計額です。
売買益	売買益と期末評価益の合計です。
売買損	売買損と期末評価損の合計です。
<b>信託報酬等</b>	信託報酬のほか保管費用、監査費用、その他の費用と、それらに掛かる消費税等相当額です。
<b>当期損益金</b>	当期における収支合計です。
<b>前期繰越損益金</b>	前期分の分配準備積立金と繰越損益金の合計額から当期中の解約に対する持分を控除した金額です。
<b>追加信託差損益金</b>	受益者がファンドに払い込んだ金額と元本との差額です。
(配当等相当額)	配当等に相当する額です。
(売買損益相当額)	売買損益に相当する額です。
<b>計</b>	収益分配前の期中の収支の総合計です。
<b>収益分配金</b>	期中の分配可能額から受益者に支払われる分配金です。
<b>次期繰越損益金</b>	翌期に繰り越す損益金の合計です。
追加信託差損益金	翌期に繰り越す追加信託差損益金です。
(配当等相当額)	配当等に相当する額です。
(売買損益相当額)	売買損益に相当する額です。
分配準備積立金	翌期に繰り越す分配準備積立金の額です。
繰越損益金	翌期に繰り越す損益金の額です。

○（参考情報）親投資信託の組入資産の明細

（2019年2月12日現在）

<新興国債マザーファンド>

下記は、新興国債マザーファンド全体（5,914,722千口）の内容です。

外国公社債

(A) 外国（外貨建）公社債 種類別開示

区 分	第 137 期		末					
	額 面 金 額	評 価 額		組 入 比 率	う ち B B 格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額			5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
ア メ リ カ (クレジット・リンク・ノート)	千米ドル 3,350	千米ドル 3,333	千円 368,485	% 5.3	% —	% 5.3	% —	% —
メ キ シ コ	千メキシコペソ 156,000	千メキシコペソ 161,157	923,429	13.3	—	13.3	—	—
ブ ラ ジ ル	千ブラジルレアル 32,000	千ブラジルレアル 34,123	1,004,247	14.5	14.5	11.3	—	3.1
ペ ル ー	千ペルーソル 15,000	千ペルーソル 16,043	532,014	7.7	—	—	—	7.7
ト ル コ	千トルコリラ 17,000	千トルコリラ 14,440	302,667	4.4	4.4	3.5	—	0.9
ポ ー ラ ン ド	千ポーランドズロチ 26,000	千ポーランドズロチ 29,308	844,664	12.2	—	7.2	5.0	—
ロ シ ア	千ロシアルーブル 300,000	千ロシアルーブル 295,314	496,128	7.2	—	1.2	4.2	1.7
マ レ ー シ ア	千マレーシアリンギット 18,000	千マレーシアリンギット 18,059	489,599	7.1	—	1.5	2.0	3.6
イ ン ド ネ シ ア	千インドネシアルピア 99,000,000	千インドネシアルピア 106,863,750	844,223	12.2	—	6.1	—	6.1
南 ア フ リ カ	千南アフリカランド 57,000	千南アフリカランド 61,259	491,305	7.1	—	5.6	—	1.5
中 国 オ フ シ ョ ア	千オフショア元 20,000	千オフショア元 20,271	329,207	4.7	—	2.4	2.4	—
合 計	—	—	6,625,973	95.5	18.8	57.5	13.5	24.5

(注) 邦貨換算金額は、作成期間末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、当ファンドが組み入れているマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

新興国債オープン（毎月決算型）（愛称 アトラス（毎月決算型））

(B) 外国（外貨建）公社債 銘柄別開示

銘柄	第 137 期 末					
	利 率	額 面 金 額	評 価 額		償 還 年 月 日	
			外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額		
アメリカ（クレジット・リンク・ノート）	%	千米ドル	千米ドル	千円		
普通社債券 (含む投資法人債券)	CS INT(INRCLN) 8.4 2407A	—	3,350	3,333	368,485	2024/7/31
小 計					368,485	
メキシコ		千メキシコペソ	千メキシコペソ			
国債証券	MEXICAN BONOS 10	10.0	103,000	111,247	637,446	2024/12/5
	MEXICAN BONOS 7.5	7.5	41,000	38,718	221,856	2027/6/3
	MEXICAN BONOS 7.75	7.75	12,000	11,191	64,126	2031/5/29
小 計					923,429	
ブラジル		千ブラジルレアル	千ブラジルレアル			
国債証券	BRAZIL NTN-F 10	10.0	7,000	7,401	217,833	2021/1/1
	BRAZIL NTN-F 10	10.0	7,000	7,475	219,992	2025/1/1
	BRAZIL NTN-F 10	10.0	9,000	9,600	282,547	2027/1/1
	BRAZIL NTN-F 10	10.0	9,000	9,645	283,874	2029/1/1
小 計					1,004,247	
ペルー		千ペルーソル	千ペルーソル			
国債証券	REPUBLIC OF PERU 7.84	7.84	15,000	16,043	532,014	2020/8/12
小 計					532,014	
トルコ		千トルコリラ	千トルコリラ			
国債証券	TURKEY GOVT BOND 10.4	10.4	3,000	2,947	61,785	2019/3/27
	TURKEY GOVT BOND 10.4	10.4	4,000	3,358	70,395	2024/3/20
	TURKEY GOVT BOND 10.5	10.5	10,000	8,133	170,486	2027/8/11
小 計					302,667	
ポーランド		千ポーランドズロチ	千ポーランドズロチ			
国債証券	POLAND GOVT BOND 2.5	2.5	6,000	5,978	172,313	2026/7/25
	POLAND GOVT BOND 4	4.0	11,000	11,927	343,751	2023/10/25
	POLAND GOVT BOND 5.75	5.75	9,000	11,401	328,600	2029/4/25
小 計					844,664	
ロシア		千ロシアルーブル	千ロシアルーブル			
国債証券	RUSSIA-OFZ 7	7.0	180,000	174,949	293,914	2023/1/25
	RUSSIA-OFZ 7.5	7.5	70,000	69,944	117,505	2019/2/27
	RUSSIA-OFZ 8.15	8.15	50,000	50,421	84,708	2027/2/3
小 計					496,128	
マレーシア		千マレーシアリンギット	千マレーシアリンギット			
国債証券	MALAYSIA GOVT 3.733	3.733	4,000	3,922	106,336	2028/6/15
	MALAYSIA GOVT 3.882	3.882	5,000	5,040	136,638	2022/3/10
	MALAYSIA GOVT 5.734	5.734	9,000	9,097	246,625	2019/7/30
小 計					489,599	
インドネシア		千インドネシアルピア	千インドネシアルピア			
国債証券	INDONESIA GOV T 10	10.0	15,000,000	16,382,250	129,419	2024/9/15
	INDONESIA GOV T 11	11.0	50,000,000	53,142,500	419,825	2020/11/15
	INDONESIA GOV T 11	11.0	20,000,000	23,005,800	181,745	2025/9/15
	INDONESIA GOV T 8.375	8.375	14,000,000	14,333,200	113,232	2026/9/15
小 計					844,223	

新興国債オープン（毎月決算型）（愛称 アトラス（毎月決算型））

銘	柄		第 137 期 末				償還年月日
			利 率	額 面 金 額	評 価 額		
					外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
南アフリカ			%	千南アフリカランド	千南アフリカランド	千円	
	国債証券	REP SOUTH AFRICA 10.5	10.5	44,000	48,196	386,534	2026/12/21
		REP SOUTH AFRICA 7.25	7.25	13,000	13,063	104,770	2020/1/15
	小	計				491,305	
中国オフショア				千オフショア元	千オフショア元		
	国債証券	CHINA GOVT BOND 3.17	3.17	10,000	10,132	164,546	2021/10/11
		CHINA GOVT BOND 3.25	3.25	10,000	10,139	164,660	2028/11/22
	小	計				329,207	
	合	計				6,625,973	

(注) 邦貨換算金額は、作成期間末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

(注) 米ドル建ての債券は、全て現地通貨建ての新興国債にパフォーマンスが概ね連動するクレジット・リンク・ノートです。銘柄名に（INRCLN）とあるものはインドの現地通貨建ての国債に連動する債券です。

(注) クレジット・リンク・ノートの利率は、連動先債券の通貨とドルとの為替レートの影響を受け変動しますので、「-」と表示しております。

(注) クレジット・リンク・ノート（CLN）は、連動先債券の信用リスクに加え、発行体である金融機関の信用リスクも負っています。作成期間末現在の発行体は、Credit Suisse Internationalです。

## 新興国債マザーファンド

マザーファンドの運用報告書につきましては、ベビーファンドの運用報告書と作成対象期間が異なる場合には、データ・コメント等に不一致が生じる場合がありますのでご了承ください。

### 新興国債マザーファンド

#### 第11期 運用状況のご報告

決算日：2018年8月13日

当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	主としてJPモルガン社のGBI-EM（ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット）ブロード・ディバーシファイド指数を構成する新興国が発行する現地通貨建ての国債または政府機関が発行する債券、およびそれと同等の価値が得られるクレジット・リンク・ノート等（以下、「新興国の国債等」といいます。）に投資し、安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	新興国の国債等を主要投資対象とします。
投資制限	外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

### ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		GBI-EM（ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット）ブロード・ディバーシファイド指数（円ベース）		債券組入率	債券先物率	純資産額
	円	騰落率	（参考指数）	騰落率			
7期(2014年8月12日)	11,248	5.0%	229.091	9.0%	97.0%	—	18,835
8期(2015年8月12日)	11,346	0.9%	241.531	5.4%	97.4%	—	15,329
9期(2016年8月12日)	9,894	△12.8%	214.672	△11.1%	89.2%	—	9,388
10期(2017年8月14日)	11,509	16.3%	243.447	13.4%	82.5%	—	8,774
11期(2018年8月13日)	10,898	△5.3%	234.055	△3.9%	82.4%	—	7,091

(注) 基準価額は1万円当たり。

(注) GBI-EM（ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット）ブロード・ディバーシファイド指数（円ベース）は、当ファンドの参考指数であり、ベンチマークではありません。GBI-EM（ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット）ブロード・ディバーシファイド指数（円ベース）は、当該日前営業日のデータです。

(注) 債券先物比率＝買建比率－売建比率。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		G B I - E M (ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット) ブロード・ディバーシファイド指数 (円ベース)		債 券 組 入 率	債 券 先 物 率 比
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
(期 首) 2017年8月14日	円 11,509	% —	ポイント 243.447	% —	% 82.5	% —
8月末	11,772	2.3	249.885	2.6	93.0	—
9月末	11,913	3.5	253.177	4.0	96.7	—
10月末	11,727	1.9	249.627	2.5	92.0	—
11月末	11,823	2.7	250.471	2.9	94.6	—
12月末	12,009	4.3	255.852	5.1	93.2	—
2018年1月末	11,980	4.1	255.820	5.1	88.7	—
2月末	11,787	2.4	252.606	3.8	90.7	—
3月末	11,809	2.6	252.036	3.5	88.1	—
4月末	11,758	2.2	251.840	3.4	95.8	—
5月末	11,249	△2.3	240.448	△1.2	92.3	—
6月末	11,021	△4.2	235.711	△3.2	97.6	—
7月末	11,414	△0.8	242.472	△0.4	85.7	—
(期 末) 2018年8月13日	10,898	△5.3	234.055	△3.9	82.4	—

(注) 騰落率は期首比。

G B I - E M (ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット) ブロード・ディバーシファイド指数 (円ベース) は、J.P.Morgan Securities Inc. が公表している新興国の債券のパフォーマンスを表す指数です。同指数は、J.P.Morgan Securities Inc. が定める条件により選ばれた、政府または政府機関の発行する、新興国の現地通貨建ての債券で構成されている時価総額加重平均指数で、2003年1月1日より算出されております。



## 運用経過

## 期中の基準価額等の推移

(2017年8月15日～2018年8月13日)



(注) 参考指数は、G B I - E M (ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット) ブロード・ディバーシファイド指数 (円ベース) です。

(注) 参考指数は、期首 (2017年8月14日) の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

## ○基準価額の主な変動要因

当ファンドにおける主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

## (主なプラス要因)

- ・現地通貨建て新興国債への投資により、安定的な利息収入を獲得したこと。また、債券利回りが上昇する投資国が多かったものの、ブラジルを筆頭にトルコ以外の投資国においては、保有債券の価格変動と利息収入の合計である債券要因がプラス寄与したこと。

## (主なマイナス要因)

- ・トルコの保有債券の利回りが上昇し、価格が下落したこと。
- ・新興国通貨が対円で全面安となったこと。特に、トルコリラ、ブラジルリアルが対円で大幅に下落したこと。

**投資環境**

(2017年8月15日～2018年8月13日)

**<新興国の国債市場>**

各投資国の金融政策、ファンダメンタルズ（経済の基礎的条件）、政治リスクの違い等を反映し、2018年3月までは、国によりまちまちな動きとなりました。その後、米国の長期債利回り上昇、イタリアの政局不安、米中の貿易摩擦への懸念等を背景に、新興国から投資資金が流出し、多くの投資国で国債利回りが上昇（価格は下落）しました。また、一部の国では通貨安を受けて、利上げを余儀なくされたことも、利回りの上昇要因として働きました。期末にかけては、中央銀行に対する信認低下や通貨の急落を受けて、トルコ国債の利回りが一段と上昇しました。

**<為替市場>**

北朝鮮情勢など地政学リスクへの懸念が徐々に和らいだことに加え、世界経済の拡大や商品市況の上昇等を背景に新興国への資金流入が継続し、2018年1月までは、新興国通貨は総じて対円で堅調に推移する展開となりました。しかし、2018年2月に入ると、世界的な株安に伴うリスク回避の動きから、新興国通貨が対円で急反落することとなりました。その後も、米国の長期債利回り上昇、イタリアの政局不安、米中の貿易摩擦への懸念等を背景に、新興国から投資資金が流出し、4月下旬から6月末にかけて、新興国通貨が対円で下値を切り下げる動きとなりました。7月には新興国通貨が対円で下げ幅を縮小する場面も見られましたが、期末にかけては、中央銀行に対する信認低下や米国の経済制裁発表を嫌気し、トルコリラが対円で急落すると、新興国通貨が対円で全面安の展開となりました。この結果、当期間において、投資していた11通貨のうち、トルコリラを筆頭に9通貨が対円で下落する一方、マレーシアリングットとコロンビアペソの2通貨が対円で上昇しました。

**当ファンドのポートフォリオ**

(2017年8月15日～2018年8月13日)

J Pモルガン社のG B I - E M（ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット）ブロード・ディバーシファイド指数を構成する新興国の中から、国債の利回り水準や流動性、国内総生産（GDP）、経常収支、外貨準備、インフレ率などのファンダメンタルズ等を総合的に判断し、投資国及び投資通貨を選定しました。当期間においては、11カ国、11通貨（日本及び円は除いています）に投資を行いました（インド、コロンビアへの投資はクレジット・リンク・ノート（CLN）\*を通じて行いました）。当期間における新興国の国債及び通貨の組入れは、投資環境に応じて、機動的に変化させました。また、2018年3月初めから下旬にかけては先進国国債の組入れ、2018年1月下旬から2月初めと5月下旬には一部通貨に対する為替ヘッジを行いました。期末時点の外貨の投資比率は83.8%、投資国上位は、ブラジル、インドネシア、メキシコ、ポーランドとなっています。前期末との比較では、南アフリカ、ポーランドの投資比率が上昇する一方、コロンビアの投資比率が低下しました。コロンビアに関しては、期末時点での組入れはありません。なお、当期間においては、トルコの平均投資比率は4%台前半と低めに維持しました。また、ファンドの金利変動リスクを測る尺度であるデュレーションは、期末時点で3.27年となり、前期末と比較し短期化となりました。

\*クレジット・リンク・ノート（CLN）は、現地通貨建ての新興国国債または新興国の政府機関債にパフォーマンスが概ね連動する債券です。クレジット・リンク・ノート（CLN）は、米ドル建てで発行されていますが、ファンドに与える実質的な影響を考慮し、連動先債券の国および通貨の情報に基づいて前述の分類を行っています。

**当ファンドのベンチマークとの差異**

(2017年8月15日～2018年8月13日)

当ファンドは特定のベンチマークを設けておりませんが、当ファンドの基準価額の騰落率は、参考指数としているJ Pモルガン社の「G B I - E M（ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット）ブロード・ディバーシファイド指数（円ベース）」の騰落率を1.4%下回りました。

## 今後の運用方針

### (投資環境の見通し)

先進国の国債市場では、欧米の主要中央銀行による金融政策正常化の動きが、今後も利回りの上昇要因として働きやすいと見ています。しかし、米政権の外交面での強硬姿勢が、米中の貿易摩擦や中東情勢の緊迫化等、グローバル経済全般のリスク要因として意識され始めていることから、利回り上昇余地は限定的と考えています。新興国の国債市場に関しては、主要中央銀行による金融政策正常化の動きや上記のリスク要因を背景とする新興国からの投資資金の流出懸念が、利回り上昇につながる場面があると見ています。一方、先進国における金利先高観測がやや後退しつつあることから、メキシコやインドなど中央銀行が適切な金融政策運営を行っている国に関しては、引き続き中長期的な投資妙味が高いと判断しています。

為替市場では、トルコリラの急落の影響が他の新興国通貨にも波及し、期末にかけて新興国通貨が対円で全面安の動きとなりました。トルコに関しては、足元の自国通貨急落を受けて、民間部門を中心に外貨建て債務の返済問題が一層深刻化しており、短期間で抜本的な解決策が打ち出される可能性は低いと思われます。このため、当面は新興国通貨の下値不安が残る展開が想定されますが、期末にかけての新興国通貨の下落はやや行き過ぎと見ており、市場の落ち着きとともに、新興国通貨の買戻しが進行しやすいと思われます。また、今回のトルコリラの急落を受けて、投資国や投資通貨を選別する動きが一層強まる可能性が高いと見ており、通貨間のパフォーマンス格差が拡大しやすい局面が続くと考えています。

### (運用方針)

新興国の国債及び通貨の組入れを高位に維持することを基本とします。ただ、市況動向によっては、ポートフォリオの一部を先進国の国債（米国、ドイツ、日本）や円のコール・ローン等へシフトする場合があります。また、投資環境の変化に応じてファンド全体の金利変動リスク、為替変動リスク、信用リスクのコントロールを図る方針ですが、投資環境の急変が起きた場合には、委託会社の判断により為替ヘッジを行うことがあります。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2017年 8 月15日～2018年 8 月13日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用 (保 管 費 用)	19 ( 7 )	0.164 (0.063)	(a) その他費用=期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 その他は、クレジット・リンク・ノートの発行体に関する年間手数料等
(そ の 他)	(12)	(0.101)	
合 計	19	0.164	
期中の平均基準価額は、11,688円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は 1 万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○ 売買及び取引の状況

(2017年 8 月15日～2018年 8 月13日)

公社債

		買 付 額	売 付 額
外	アメリカ	千米ドル 5,956	千米ドル 5,988
		社債券（投資法人債券を含む）	—
	メキシコ	千メキシコペソ 253,325	千メキシコペソ 269,493
		ブラジル	千ブラジルリアル 21,971
	ユーロ	千ユーロ	千ユーロ
		ドイツ	千ユーロ 2,958
	トルコ	千トルコリラ 20,357	千トルコリラ 18,261
	ポーランド	千ポーランドズロチ 44,549	千ポーランドズロチ 38,387
	ロシア	千ロシアルーブル 99,920	千ロシアルーブル 131,436
	マレーシア	千マレーシアリングgit 22,121	千マレーシアリングgit 30,886
国	インドネシア	千インドネシアルピア 11,265,000	千インドネシアルピア 20,610,000
	南アフリカ	千南アフリカランド 218,155	千南アフリカランド 181,145

(注) 金額は受渡代金。（経過利子分は含まれておりません。）

(注) 単位未満は切捨て。

(注) 社債券（投資法人債券を含む）には新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。

(注) アメリカの社債券として表示されているのは、全て現地通貨建ての新興国債にパフォーマンスが連動するクレジット・リンク・ノートです。

○利害関係人との取引状況等

(2017年8月15日～2018年8月13日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2018年8月13日現在)

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期			末				
	額 面 金 額	評 価 額		組 入 比 率	う ち B B 格 以 下 組 入 比 率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額			5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
ア メ リ カ (クレジット・リンク・ノート)	千米ドル 6,700	千米ドル 6,690	千円 739,751	% 10.4	% —	% 10.4	% —	% —
メ キ シ コ	千メキシコペソ 123,000	千メキシコペソ 130,190	751,201	10.6	—	9.4	—	1.1
ブ ラ ジ ル	千ブラジルレアル 30,000	千ブラジルレアル 28,254	808,351	11.4	11.4	8.5	2.9	—
ペ ル ー	千ペルーソル 15,000	千ペルーソル 16,475	555,395	7.8	—	—	7.8	—
ト ル コ	千トルコリラ 17,000	千トルコリラ 11,592	186,760	2.6	2.6	2.0	—	0.6
ポ ー ラ ン ド	千ポーランドズロチ 22,000	千ポーランドズロチ 25,542	748,637	10.6	—	6.7	—	3.9
ロ シ ア	千ロシアルーブル 180,000	千ロシアルーブル 176,272	283,797	4.0	—	—	2.4	1.6
マ レ ー シ ア	千マレーシアリンギット 9,000	千マレーシアリンギット 9,197	248,508	3.5	—	—	—	3.5
イ ン ド ネ シ ア	千インドネシアルピア 94,000,000	千インドネシアルピア 103,199,300	794,634	11.2	—	5.3	5.9	—
南 ア フ リ カ	千南アフリカランド 89,000	千南アフリカランド 94,271	728,718	10.3	—	6.4	—	3.8
合 計	—	—	5,845,757	82.4	14.0	48.8	19.0	14.6

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

新興国国債マザーファンド

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	銘柄		当期				償還年月日
			利率	額面金額	評価額	未償還額	
			%	千米ドル	千米ドル	千円	
アメリカ(クレジット・リンク・ノート)							
	普通社債券 (含む投資法人債券)	CS INT(INRCLN) 8.4 2407A	—	6,700	6,690	739,751	2024/7/31
	小計					739,751	
メキシコ				千メキシコペソ	千メキシコペソ		
	国債証券	MEXICAN BONOS 10	10.0	67,000	74,683	430,924	2024/12/5
		MEXICAN BONOS 7.5	7.5	30,000	29,505	170,245	2027/6/3
		MEXICAN BONOS 7.75	7.75	12,000	11,928	68,827	2031/5/29
		MEXICAN BONOS 8	8.0	14,000	14,073	81,204	2020/6/11
	小計					751,201	
ブラジル				千ブラジルレアル	千ブラジルレアル		
	国債証券	BRAZIL NTN-F 10	10.0	7,000	7,149	204,534	2021/1/1
		BRAZIL NTN-F 10	10.0	2,000	1,899	54,338	2025/1/1
		BRAZIL NTN-F 10	10.0	9,000	8,315	237,920	2027/1/1
		BRAZIL NTN-F 10	10.0	12,000	10,889	311,557	2029/1/1
	小計					808,351	
ペルー				千ペルーソール	千ペルーソール		
	国債証券	REPUBLIC OF PERU 7.84	7.84	15,000	16,475	555,395	2020/8/12
	小計					555,395	
トルコ				千トルコリラ	千トルコリラ		
	国債証券	TURKEY GOVT BOND 10.4	10.4	3,000	2,827	45,555	2019/3/27
		TURKEY GOVT BOND 10.4	10.4	4,000	2,628	42,344	2024/3/20
		TURKEY GOVT BOND 10.5	10.5	10,000	6,136	98,860	2027/8/11
	小計					186,760	
ポーランド				千ポーランドズロチ	千ポーランドズロチ		
	国債証券	POLAND GOVT BOND 5.5	5.5	9,000	9,437	276,610	2019/10/25
		POLAND GOVT BOND 5.75	5.75	13,000	16,104	472,027	2029/4/25
	小計					748,637	
ロシア				千ロシアルーブル	千ロシアルーブル		
	国債証券	RUSSIA-OFZ 7	7.0	110,000	106,208	170,995	2023/1/25
		RUSSIA-OFZ 7.5	7.5	70,000	70,063	112,802	2019/2/27
	小計					283,797	
マレーシア				千マレーシアリンギット	千マレーシアリンギット		
	国債証券	MALAYSIA GOVT 5.734	5.734	9,000	9,197	248,508	2019/7/30
	小計					248,508	
インドネシア				千インドネシアルピア	千インドネシアルピア		
	国債証券	INDONESIA GOV'T 10	10.0	10,000,000	11,105,400	85,511	2024/9/15
		INDONESIA GOV'T 11	11.0	50,000,000	54,078,000	416,400	2020/11/15
		INDONESIA GOV'T 11	11.0	20,000,000	23,488,800	180,863	2025/9/15
		INDONESIA GOV'T 8.375	8.375	14,000,000	14,527,100	111,858	2026/9/15
	小計					794,634	
南アフリカ				千南アフリカランド	千南アフリカランド		
	国債証券	REP SOUTH AFRICA 10.5	10.5	54,000	59,137	457,129	2026/12/21
		REP SOUTH AFRICA 8	8.0	35,000	35,134	271,588	2018/12/21
	小計					728,718	
	合計					5,845,757	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

(注) 米ドル建ての債券は、全て現地通貨建ての新興国国債にパフォーマンスが概ね連動するクレジット・リンク・ノートです。銘柄名に(INRCLN)とあるものはインドの現地通貨建ての国債に連動する債券です。

(注) クレジット・リンク・ノートの利率は、連動先債券の通貨とドルとの為替レートの影響を受け変動しますので、「—」と表示しております。

(注) クレジット・リンク・ノート(CLN)は、連動先債券の信用リスクに加え、発行体である金融機関の信用リスクも負っています。当期末現在の発行体は、Credit Suisse Internationalです。

## ○投資信託財産の構成

(2018年8月13日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公 社 債	5,845,757	82.4
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	1,245,488	17.6
投 資 信 託 財 産 総 額	7,091,245	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(注) 当期末における外貨建純資産(6,342,448千円)の投資信託財産総額(7,091,245千円)に対する比率は89.4%です。

(注) 外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、邦貨換算レートは1米ドル=110.56円、1メキシコペソ=5.77円、1ブラジルレアル=28.61円、1ペルーソル=33.71円、1トルコリラ=16.11円、1ポーランドズロチ=29.31円、1ロシアルーブル=1.61円、1マレーシアリングギット=27.02円、1インドネシアルピア=0.0077円、1南アフリカランド=7.73円です。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2018年8月13日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	7,492,786,790
コール・ローン等	922,479,304
公社債(評価額)	5,845,757,470
未収入金	620,418,783
未収利息	89,728,321
前払費用	14,402,912
(B) 負債	401,544,144
未払金	401,541,700
未払利息	969
その他未払費用	1,475
(C) 純資産総額(A-B)	7,091,242,646
元本	6,507,060,844
次期繰越損益金	584,181,802
(D) 受益権総口数	6,507,060,844口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,898円

(注) 計算期間末における1口当たりの純資産額は、1.0898円です。

(注) 当ファンドの期首元本額は7,624,490,566円、期中追加設定元本額は427,853,920円、期中一部解約元本額は1,545,283,642円です。

(注) 当親ファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額は、以下の通りです。

新興国債オープン(毎月決算型)愛称:アトラス(毎月決算型)  
6,053,422,897円  
新興国債オープン(1年決算型)愛称:アトラス(1年決算型)  
453,637,947円

## ○損益の状況 (2017年8月15日~2018年8月13日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	561,272,220
受取利息	561,540,665
支払利息	△ 268,445
(B) 有価証券売買損益	△ 927,291,632
売買益	212,913,504
売買損	△1,140,205,136
(C) その他費用等	△ 13,895,036
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 379,914,448
(E) 前期繰越損益金	1,150,416,528
(F) 追加信託差損益金	75,496,080
(G) 解約差損益金	△ 261,816,358
(H) 計(D+E+F+G)	584,181,802
次期繰越損益金(H)	584,181,802

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定した価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

## <お知らせ>

該当事項はございません。